

春闘前哨戦

第20回 JR京都駅ビル

「大階段駆け上がり大会」開催

春闘勝利への熱き思いで駆け上がる!!

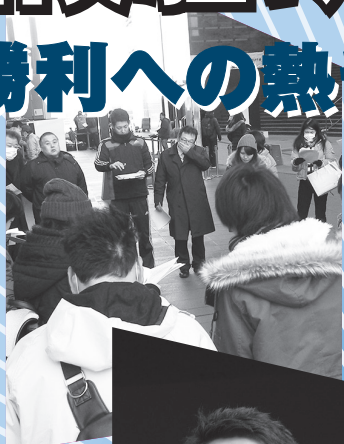
JR
WEST
西労組
UNION
ニュース

No.8
(通算) **No.504**
2017.3.17
JR西労組ホームページ
(http://www.jrw-union.gr.jp)

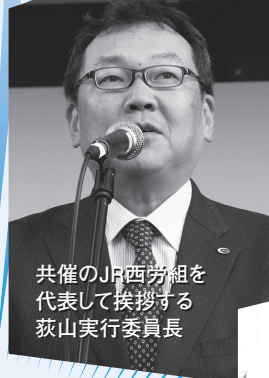
1991年12月6日結成
JR-25
西労組

西日本旅客鉄道労働組合

本部 530-0012 大阪府北區金田一丁目一十八番八号
TEL 06-6375-1985 (大阪急) ル95
TEL 06-6375-1717 (大阪急) ル95
FAX 06-6375-1714
JRT (大阪) 07-1717
●発行責任者 宮荻 野山 勇市 馬朗
●編集責任者 宮荻 野山 勇市 馬朗



協会代表挨拶
京都駅ビル開発(株)
福山社長



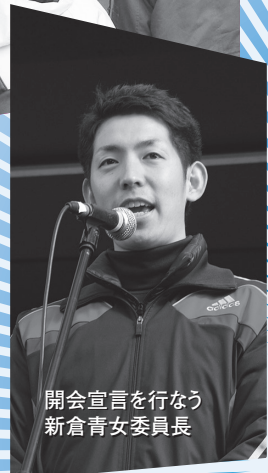
共催のJR西労組を
代表して挨拶する
荻山実行委員長



選手宣誓を行う
「大鉄☆陸上部☆」の
今井選手、野崎選手



団体の部1位
上昇気竜
1分33秒03



開会宣言を行なう
新倉青女委員長

20



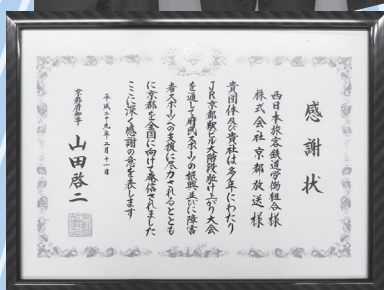
45歳以上の部1位
渡川操選手
(サンマッハスポーツ)
21秒83



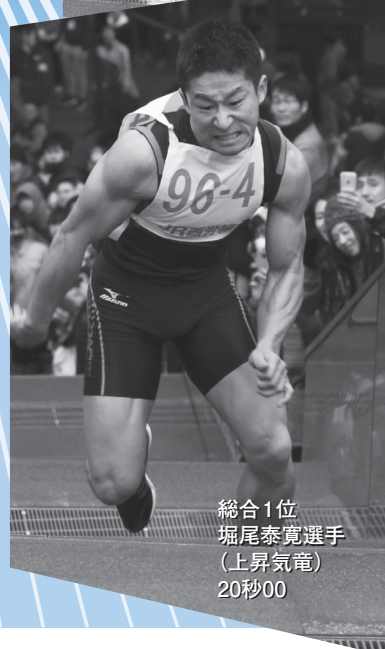
女性の部1位
小塚美弥選手
(のだがわ〜ず)
27秒00



大会による長年の貢献に対し
京都府知事より感謝状が
授与された



大会前の設営の様子や
大会運営などのスナップやコメントは
裏表紙(8面)をご覧ください。



総合1位
堀尾泰寛選手
(上昇気竜)
20秒00



閉会宣言と乾杯を行う
里内副委員長



第20回大会を
記念して
「大政奉還」レース
が行われた



天まで翔ける、
春よ来い!

2月11日(土)、2017春闘の前哨戦として、KBS京都主催「JR西労組共催のもと、第20回JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会が今年も盛大に開催された。

第20回の記念大会となる今年は、100チーム4000名がエントリーし、171段の大階段で健脚を競い合った。

ゲストの門川京都市長、タレントの森脇健児さんのほか、三日月滋賀県知事も会場に駆けつけ、大会を盛り上げた。

JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会は、1997年9月に現在の京都駅ビルが誕生した際、その大きな特徴である大階段を何かに活用できないかとのJR西労組の提案により、1998年に第1回大会が開催され、以降、毎年欠かさず春闘の前哨戦として開催され、京都の冬の大きなイベントのひとつとなっている。今では京都府外からの参加希望者も多く、JR西労組が取り組む地域活性化運動の大きな役割をも果たしている。

大会前日の10日は吹雪の中の準備となったが、当日は好天に恵まれ、前夜からの積雪が残るコースもスタッフによる懸命の努力により整備された。会場となる「大階段」は、JR京都駅ビルの室町小路広場からそびえる、171段・高低差35メートル・全長70メートルもの階段群である。競技に参加したJR西労組13チーム、JR西日本連合20チームの仲間達は、日頃の成果を存分に発揮し、春闘勝利に向け力強く駆け上がった。(JR西労組グループ各チームの順位は別掲参照)

JR西労組の全体順位は、「広島じゃけんず」(広島地本)が18位、「ジョナサンズ福知山」(福知山地本)が23位、「オッショイ博多」(福岡地本)が26位、「フンストップ・バス」(中バス地本)が27位であった。JR西日本連合では、ジェイアール西日本伊勢丹「ジェイアール西日本伊勢丹」が39位、「チーム日本旅行」(日本旅行労働組合)が44位、「J-Tech」(JR西日本テクノス労組)が46位の成績であった。(個人・団体の成績はP2〜P7参照)

今年も、優勝した団体には、那智勝浦町観光協会から寄贈された生マクロ一本が贈呈された。その他にもJR西日本グループの各社から提供いただいた多くの豪華賞品で、会場は大いに賑わった。また、参加者から集められた参加費と、例年好評の肉まん豚汁によって得られた収益は、チャリティとして、全て京都障がい者スポーツ振興会にAEDとともに寄贈された。さらに、大会による長年のスポーツの振興、障がい者スポーツの支援などの貢献に対し、京都府知事から感謝状が授与された。

当日の様子は2月25日のKBS京都にて、例年の55分枠から85分に拡大して放送されたほか、同日テレビ大阪の「おとな旅あるき旅」でも紹介された。

今回も大会の成功に尽力いただいた、京都地本や青年女性委員会のメンバーに改めて感謝の意を表するとともに、組合員全員の春闘勝利に向けた一層の団結を要請する!